

地域をめぐり、あったらいい美郷町の未来をみんなで描きました！

10月12日(土)・13日(日)・14日(月・祝)

11:00～15:00

全体概要

わくわくワークの第2回は、南郷地区、北郷地区、西郷地区をめぐって開催しました。ご家族で訪れてくださった方も多く、お子さんからお年寄りまで3ヶ所で約150名ほどにご参加いただきました。3日目の西郷地区はあいにくの雨天で室内での開催となりましたが、10月の心地いい気候の中、屋外につくったワークショップ会場にゆるやかに人が集まり、美郷町の未来を語り合ったり、あったらいい未来のイメージを共有し合う、素敵な時間となりました。



開催の目的

それぞれの地域で開催した第2回ワークショップでは、美郷町の人口や暮らし、しごとについて知るポスターや、第1回のワークショップで出されたアイデアを展示。それらを見ていいなと思ったり共感したら「わくわくシール」を貼ってもらいました。その後、それぞれがイメージする美郷町の未来の情景をイラストパーツやシールを使って自由に描く情景カードを作成しました。そして、大きく印刷した美郷町の地図上の、その情景が実現したらいいなと思う場所に置いていきました。3つの地域を巡り、美郷町にあったらいい未来の情景がたくさん集まりました。

3地区の開催場所の紹介

南郷地区

美郷南学園体育館

10月12日(土)



北郷地区

北の郷駐

10月13日(日)



西郷地区

西郷ニューホープセンター

10月14日(月・祝)



開催結果を話し合っ戦略のテーマをブラッシュアップしました！！

総合戦略策定を進めていくための取り組みとして、美郷町役場職員の有志で策定チームを立ち上げました。ワークショップを企画運営し、集めた意見の整理や分析を行いながら、総合戦略の内容にいかしていく取り組みを進めています。第2回の結果をもとに、戦略のタイトルと5つの方向性をブラッシュアップしていきました。

戦略のタイトル

町で楽しくすごしたいよね

みさと わくわく プロジェクト

1. 学び合い楽しみを分け合える町

美郷町に長く暮らしているおじいちゃん、おばあちゃんなど地域の方から暮らしの知恵を教えてもらう場、また、移住してきた方や外からの人と一緒に地域を発信しながら学びを共有するなどの意見があり、わくわくしながら学びや楽しみを分かち合うことが大切だという思いを込めました。

2. 会えるきっかけと場所がある町

多様な人々の交流に関するアイデアが多く出されました。地域内や地域外からの人や、さまざまな年代の人々がいつでも誰でも自由に集まれる機会や場所があるといいという意見や、カフェのある図書館など、既存の場所に新たな機能を追加して、今あるものを活かして充実させていくアイデアなどが生まれていました。



3. 美郷ならではの味わえる町

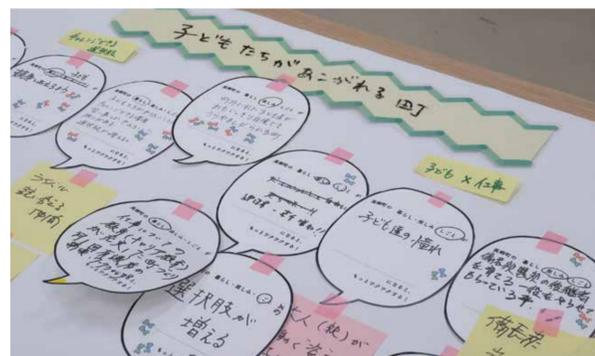
美郷町ならではの食材や木材、また、備長炭などの生産物を、町内でつくって、町内で食べたり使える循環があるといいという意見や、そんなしくみをつくりたいという意見、また、農業や地域の産業を通じて町外の人にも美郷町ならではの味わってほしいという意見から、美郷町をまるごと味わえるといいという思いを込めました。

4. 支え合いが広がる町

地域の中で各々ができることや得意なことをシェアするしくみや関係があるといいという意見が出されていました。そのなかでスキルシェアだけでなくワークシェアや買い物支援、カーシェアリングにいたるまで、生活に寄り添い、支え合いが生まれるといいなという思いを込めました。

5. 子どもたちが毎日楽しい町

日々暮らしていく中で子どもたちが新しいことにチャレンジできたり、地域の仕事に関わる機会や、子どもたちの選択肢についての意見が多くありました。また、美郷町ならではの自然を活かした遊びの場や駄菓子屋など、子どもたちの時間の過ごし方に関するアイデアも多く、日常的な楽しみを充実させていくという思いを込めました。



第1回、2回ワークショップで書き出されたアイデアをふりかえりながら文言を検討しました。



地図上に落とし込んだ情景カードを展示するために貼っていきました。



第2回ワークショップをふりかえり、ブラッシュアップした結果を役場ロビーにて展示しました。

10月12日(土) 11:00~15:00

会場 南郷地区 美郷南学園体育館

南郷の開催概要

第2回ワークショップの初日は南郷地区。美郷南学園の体育館前にパネルやテントを立てて、テーブルを並べて、屋外のワークショップ会場が出来上がりました。10月の晴天に恵まれて、ワークショップのスタートと同時に参加者が何組も来場。お子さんとご両親など、ご家族と一緒に来てくださった町民のみなさんや、フィールドワークで美郷町に来ていた宮崎大学の学生、野球の練習帰りの子どもたちなど、多様な方々が参加し、にぎやかな時間となりました。



まずは展示コーナーで、美郷町の人口や暮らしについてまとめたポスターや、これまでのワークショップの内容を紹介するニューズペーパーの展示を説明。興味をもってじっくり見てくださる方がたくさんいました。



第1回ワークショップで書き出された美郷町にあつたらいなと思うアイデア。たくさん展示された吹き出し付箋のアイデアをみて、共感するものに「わくわくシール」を貼っていきました。



ミニワークショップコーナーには、イラストパーツやシール、マスキングテープ、色鉛筆などの画材を準備。子どもたちからお年寄りまで、さまざまな方に美郷町の未来のこうなつたらいな情景を自由に描いていただきました。



カフェコーナーでは、コーヒーや紅茶の他に、美郷町のへべすを使った手作りのシロップを準備。とても暑かったので、氷と炭酸水と合わせたへべすシロップソーダが大人気でした。



体育館の中にキッズコーナーを設置。絵本や漫画を自由に読めるスペースをつくりました。体育館の中で走り回って遊んだり、ゲームもルールを決めてみんなで楽しみました。



チャリティショップLoidutsのポップアップショップ。寄付いただいたアイテムを販売し、売上は美郷町の災害支援へ寄付されます。子ども服や大人の洋服やバッグなどの中から、掘り出し物を見つけるのが楽しそうでした。

ミニワークショップ

“あつたらいなと思う美郷町の未来を描こう！”

ミニワークショップブースでは、展示ポスターやこれまでのワークショップの意見に触れ、それぞれがイメージする美郷町の未来の情景を、イラストパーツやシールを使って自由に描いていただきました。時間をかけてシールやマスキングテープをたくさん使ってカラフルな情景カードを描いた方、ブックコーナーの参考図書を読みながら描いていた方、数人でおしゃべりして笑い合いながら描いていた方など、さまざまな雰囲気の情景カードがたくさん出来上がりました。



ちょっとした日常の積み重ねから、素敵な10年後を表した情景カードが描かれました。



美郷町の友達を増やして、宮崎市と美郷町の二拠点で、とても楽しく過ごしている10年後を表現して下さった情景カード。



10月13日(日) 11:00~15:00

会場 北郷地区 北の郷

北郷の開催概要

第2回ワークショップの2日目は北郷地区。サイクリングなどを楽しむ際の休憩所としても利用され、町内外からも親しまれている「手作り屋北の郷」が会場となりました。お店の前の広場の真ん中にある大きな木を中心に会場をレイアウトし、いろんな場所に座ったりゆったりできるスペースを設けました。初日に引き続きお天気に恵まれ、車で買い物に来られた方や、ツーリングの合間に立ち寄られた方など、さまざまな方が自由に参加しました。



お店の導線に沿って展示コーナーを設置したことで、北の郷に買い物に来られた方やふらっと立ち寄った方など、歩きながら展示を見たり、立ち止まって説明を聞いてくださる方が多くいました。



アイデア紹介コーナーでは共感するアイデアに「わくわくシール」を貼ったり、新たに吹き出し付箋にアイデアや「美郷町でこんなことをやってみたい！」シートを書いて貼られる方もいました。



展示パネルやアイデア紹介を見て歩きながら時折、ブックコーナーで足を止めてくれる方も。そのまま本や雑誌を手にとってベンチやイスに座りながらのんびり読書される方もいました。



カフェコーナーだけでなく町内の事業者にも出店していただき、アイスやソフトドリンク、お酒やチヂミを楽しむことも。和菓子の販売もあり、お家に持って帰るおみやげを買われる方でもぎわっていました。



北の郷店頭軒下の屋外スペースにキッズコーナーを設置。イスや床に座りながらのんびりと絵本やまんがを読んだり、飽きたらフラフープをやってみたり、お外での時間を思い思いに過ごしていました。



大きな木のまわりにイスやテーブルを設置すると、お店で買ったごはんを食べたり、お茶をしながらゆっくりおしゃべりしたり。木漏れ日の下、みんなで外リビングを楽しみました。

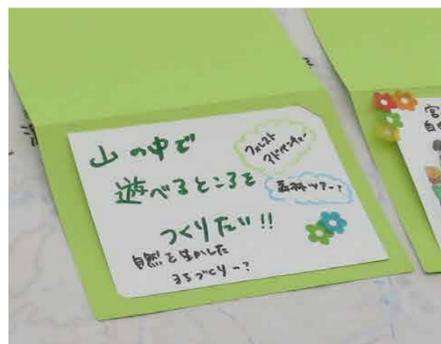
ミニワークショップ

”あったらいいなと思う美郷町の未来を描こう！”

ミニワークショップブースでは、隣にあるアイデア紹介コーナーを見に戻ったり、展示コーナーの本を読みながら参加される方もいました。また、カフェコーナーでもらったドリンクを飲んだり、おしゃべりしながらなど、さまざまなスタイルで美郷町の未来の情景を自由に描いていただきました。屋外での開催だったため、強風に吹かれ吹き飛ばされた情景カードを、「このアイデアはここだよ！」と言い合いながら、みんなで地図に配置し直すのも楽しい時間でした。



「おいしいごはんやさんがほしい」。日常生活を過ごすなかで暮らしを彩るおそとごはんの情景カードが描かれました。



美郷町の自然豊かな環境を活かしたアイデアが盛りだくさんの山の中でのあそびについての情景カード。

10月14日(月・祝) 11:00~15:00

会場 西郷ニューホープセンター(NHC)

西郷の開催概要

第2回ワークショップの最終日となる3日目は西郷地区。第1回ワークショップと同じ会場の西郷ニューホープセンターでの開催となりました。初日と2日目は天気に恵まれましたが、3日目はあいにくの雨模様。小雨が降る中、開場してすぐ来てくださった方、お天気が落ち着いてきた頃に、お子さんと一緒に来られて、じっくりミニワークショップに参加してくださった方も。アットホームな雰囲気の中、美郷町の未来をゆったりと語り合う時間となりました。



会場のエントランス付近に設置した展示コーナー。参加者のみなさんには、来場されたら、まず、美郷町の人口や暮らしの状況、これまでのワークショップの内容を丁寧に説明しました。



これまで南郷地区、北郷地区で共感する美郷町にあつたらいいなと思うアイデアに「わくわくシール」がたくさん貼られてました。西郷地区でも、さらにたくさんの「わくわくシール」が貼られ、共感がたくさん集まりました。



ミニワークショップに小さなお子さんとお母さんが一緒に参加されました。お子さんが色鉛筆やクレヨンで色を塗ったカラフルな情景カードをお母さんがきれいな美郷の風景に仕上げる合作作品もできあがりしました。



飲食販売ブースでは美郷産の栗をつかったマロンパイやパウンドケーキを購入でき、美郷の旬の味を楽しめました。また、少し肌寒かったからか、カフェコーナーでは前日まで一度もオーダーのなかったホットコーヒーが人気に！



外では雨が降っていたので、室内のキッズコーナーは子どもたちがたくさん。ゲームをしたり、イスに座ってまんがを読んだり、走り回ったり、みんなで室内の過ごし方を模索しながら思い思いに過ごしていました。

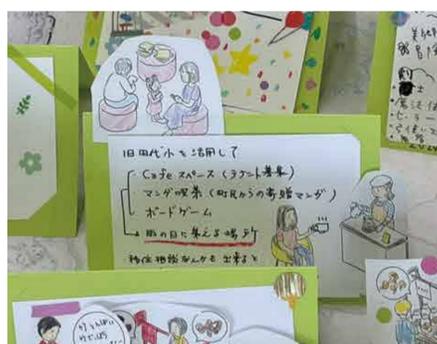


3日間でたくさんご購入いただいたチャリティショップ Loidutsのポップアップショップ。小さな女の子も、お洋服や帽子などを体に合わせてみたり装着したり、お買い物をととても楽しんでいました。

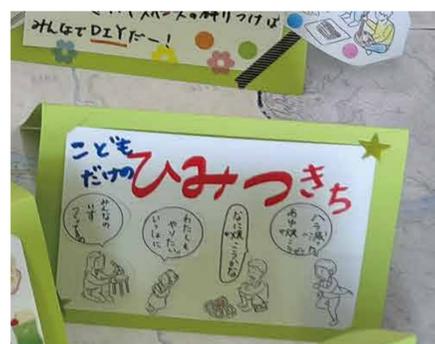
ミニワークショップ

”あつたらいいなと思う美郷町の未来を描こう！”

ミニワークショップには、小さなお子さんと一緒に情景カードを描く親子が何組も参加されていました。子どもも大人も、あつたらいいなと思う美郷の未来を思い思いに、自由に描いていました。手を動かして、何かを表現していく作業は、子どもも大人も夢中になります。みんなで集中したり、おしゃべりしながら、シールを貼ったり、イラストパーツに色を塗ったり。そうして描かれた情景カードは、どれもとても楽しそう！3日間でたくさんの美郷の未来の情景が生まれました。



カフェや町民がマンガを持ち寄ってつくるマンガ喫茶、ボードゲームで遊べる場など、旧田代小を活用する情景カード。



いつの時代も子どもたちだけの居場所が欲しくなるんだと感じさせるような、わくわくする情景カード。

